

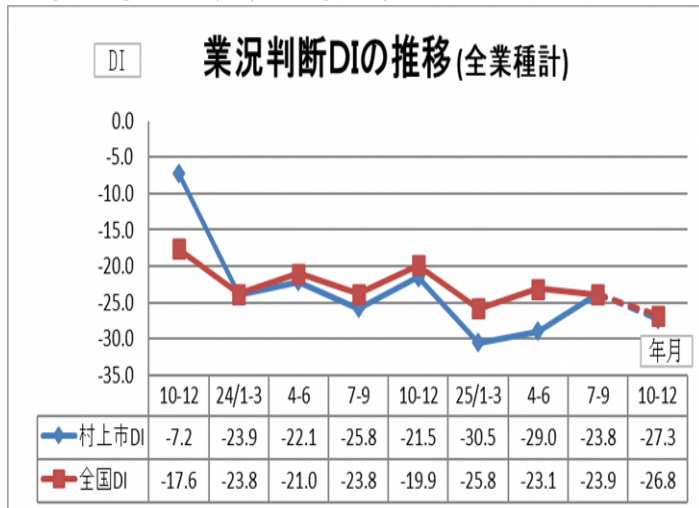


村上市 景況調査報告

＜令和7年7-9月期の実績・令和7年10-12月期の見通し＞

『物価高騰・人手不足により、持ち直しの動きに足踏みがみられる』

■村上市の業況(全業種計)

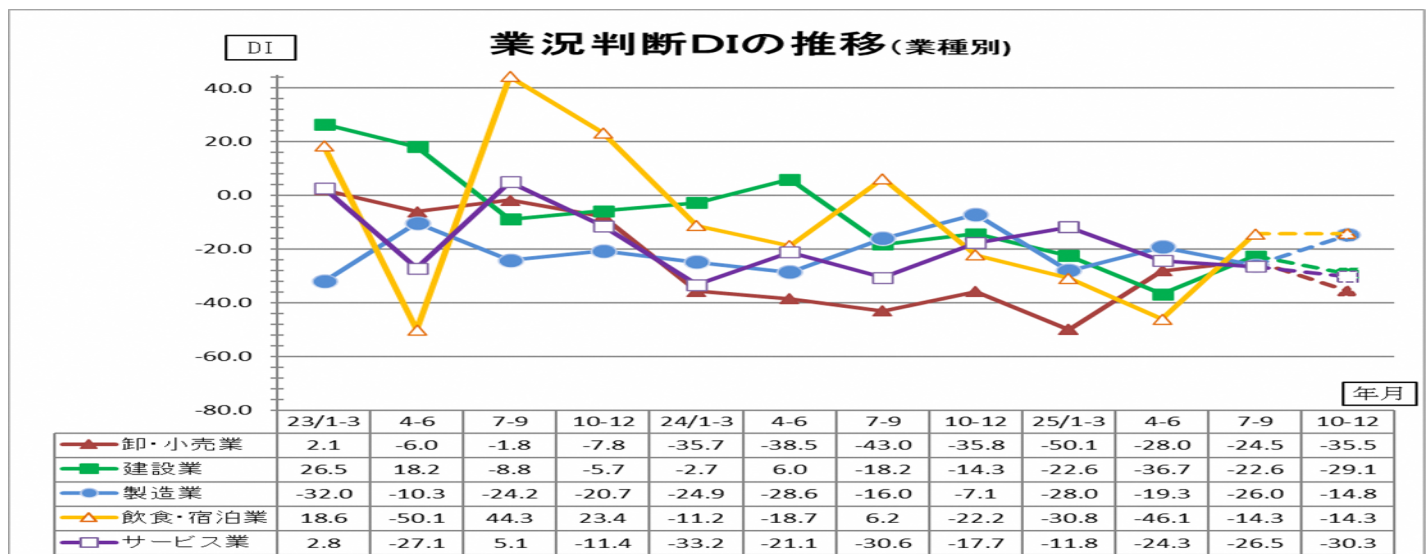


今期(7-9月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(4-6月期)と比べ5.2ポイント上昇し▲23.8となった。前期における今期予測(▲27.0)より3.2ポイント上昇し、前年同月比では2.0ポイント上昇した。全国DIは0.8ポイント低下し▲23.9となった。

来期(10-12月期)については、3.5ポイント低下し▲27.3となる見通し。全国DIは2.9ポイント低下し▲26.8となる見通し。

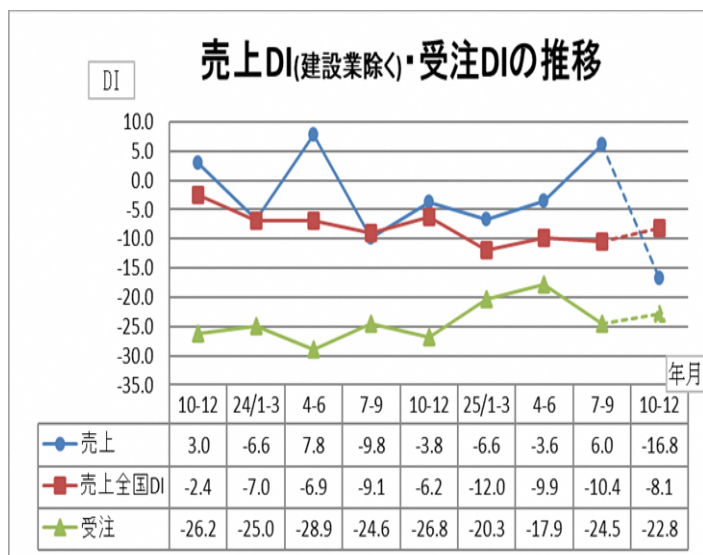
業種別のDI値は卸小売業・建設業・飲食宿泊業で上昇し、全業種でのDI値も上昇している。引き続きの物価高騰や人手不足が深刻な問題となっている。特に10月から最低賃金が初めて1,000円を超えた影響もあり、利益が圧迫されるというコメントも多い。

見通しとしては、高市総理の経済政策に期待するコメントはあるものの、DI値は低下を示している。



■業種別の動向

卸・小売業	建設業	製造業	飲食・宿泊業	サービス業
【実績】 ◆(文具小売)学校へPC機材納入特需があったため売上増。◆(青果店)物価上昇により嗜好品が売れない。◆(食料品小売)思いがけない万博への大量注文があった。◆(小売業全体)物価上昇で消費減退というコメントが多い。 【見通し】 ◆(卸小売全体)引き続き物価高騰が懸念され、資金繰りを不安視するコメントも目立つ。	【実績】 ◆(生コン)出荷が前年比で半減。(土木建築)日東道工事の施工場所が定まらず進捗しない。◆(一般住宅)村上市未来に向けた住まいづくり推進事業の受注があった。 【見通し】 ◆(土木建築)除雪に期待の声。◆(建設全体)人手不足というコメントが多い。	【実績】 ◆(半導体)引き続き受注が好調。◆(住宅資材)7-9月期新築着工棟数が各月で2棟と非常に低調。◆(全体)材料高騰で利益減少のコメントが多い。 【見通し】 ◆(電子部品製造)10月から最低賃金が上がったため利幅が減少する。	【実績】 ◆(飲食)売上が好調だったものの、米・ハラの値上がり激しい。◆(宿泊)秋はトップシーズンで良好。 【見通し】 ◆(飲食)引き続き物価高が悩み。特にハラコ。おせちの動向も不明。◆(宿泊)予約も多く前期に続いて好調な見込み。	【実績】 ◆(自動車学校)大型二輪免許取得が増加傾向。◆(解体業)建設業の仕事減に連動して解体も減少。 【見通し】 ◆(リサイクル業)例年通り年末に持ち込みが増える見込み。◆(運送業)求人難で売上が上がらない。◆(サービス全体)引き続き人手不足のコメントが多い。



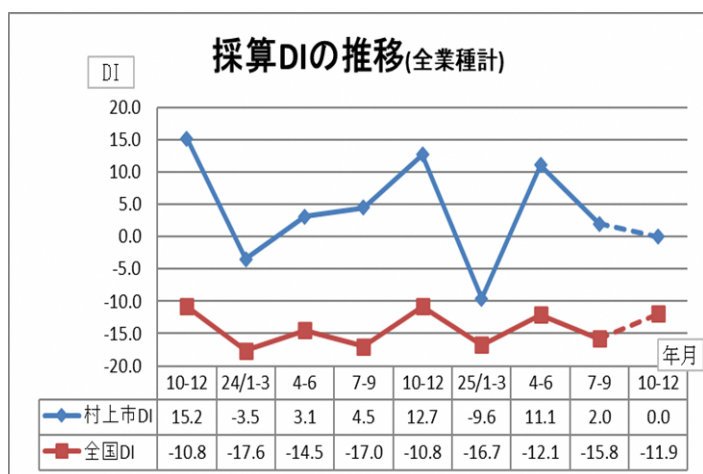
今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、9.6ポイント上昇し6.0となった。前期における今期予測(▲8.6)より14.6ポイント上昇し、前年同月比では15.8ポイント上昇した。全国DIは0.5ポイント低下し▲10.4となった。

来期については、22.8ポイント低下し▲16.8となる見通し。全国DIは2.3ポイント上昇し▲8.1となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、6.6ポイント低下し▲24.5となった。前期における今期予測(▲22.2)より2.3ポイント低下し、前年同月比では0.1ポイント上昇した。

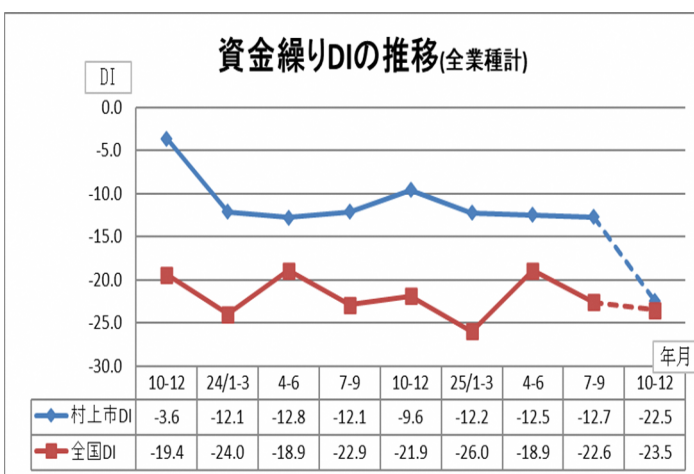
来期については、1.7ポイント上昇し▲22.8となる見通し。

【受注DIの内訳】	前期	今期	来期
・建設業	-40.1	-45.1	-48.3
・製造業	7.6	0.0	7.7



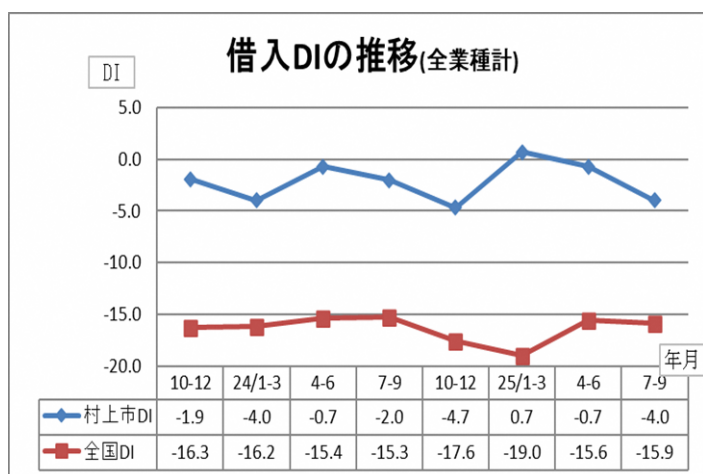
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、9.1ポイント低下し2.0となった。前期における今期予測(7.7)より5.7ポイント低下し、前年同月比では2.5ポイント低下した。全国DIは3.7ポイント低下し▲15.8となった。

来期については、2.0ポイント低下し増減なしの見通し。全国DIは3.9ポイント上昇し▲11.9となる見通し。



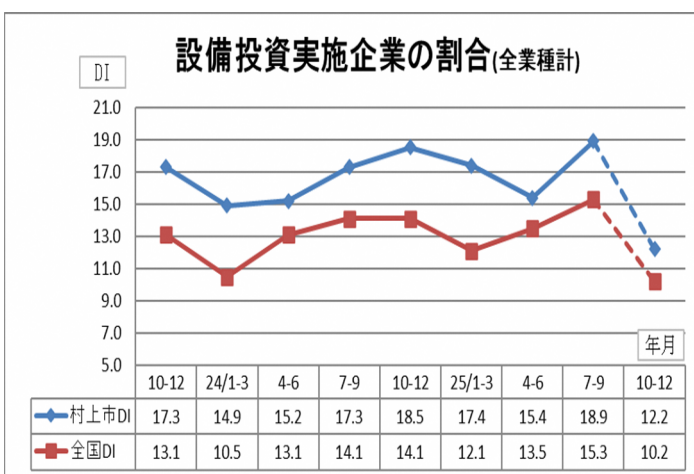
今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、0.2ポイント低下し▲12.7となった。前期における今期予測(▲10.4)より2.3ポイント低下し、前年同月比では0.6ポイント低下した。全国DIは3.7ポイント低下し▲22.6となった。

来期については、9.8ポイント低下し▲22.5となる見通し。全国DIは0.9ポイント低下し▲23.5となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、3.3ポイント低下し▲4.0となった。全国DIは0.3ポイント低下し▲15.9となった。

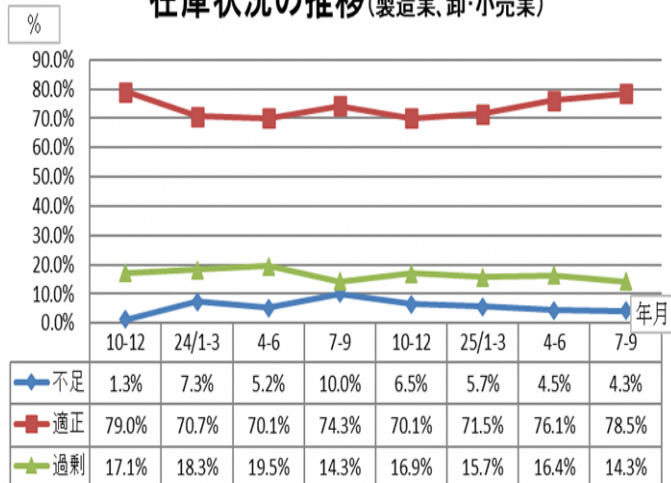
【借入DIの内訳】	前期	今期
・容易になった	2.0%	→ 0.7%
・変わらない	36.1%	→ 38.5%
・難しくなった	2.7%	→ 4.7%



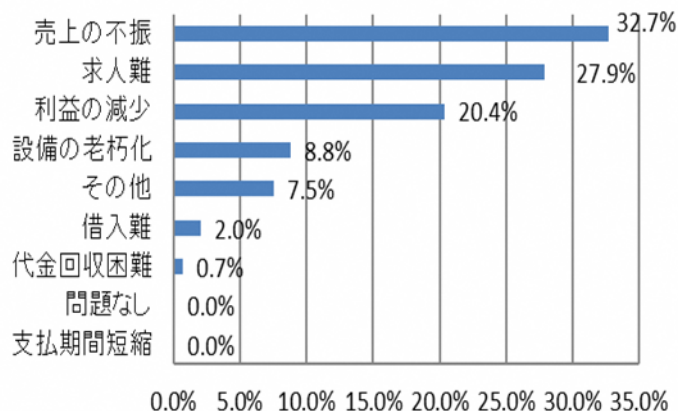
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、3.5ポイント上昇し18.9となった。前期における今期予測(17.4)より1.5ポイント上昇し、前年同月比では1.6ポイント上昇した。全国DIは1.8ポイント上昇し15.3となった。

来期については、6.7ポイント低下し12.2となる見通し。全国DIは5.1ポイント低下し10.2となる見通し。

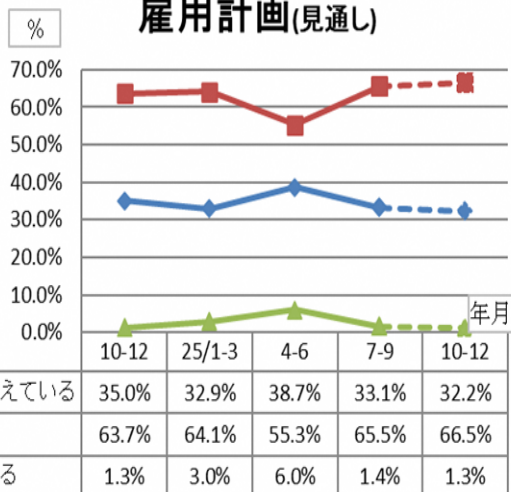
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



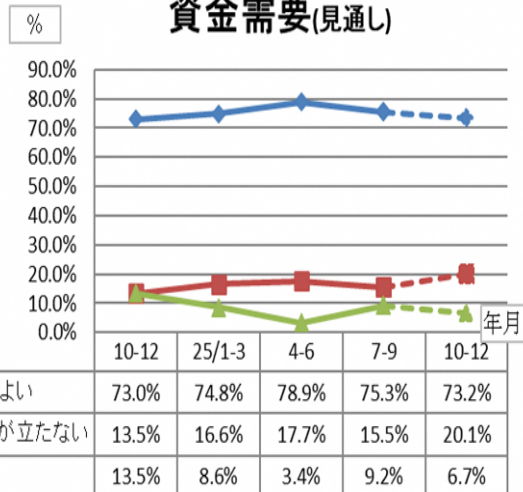
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



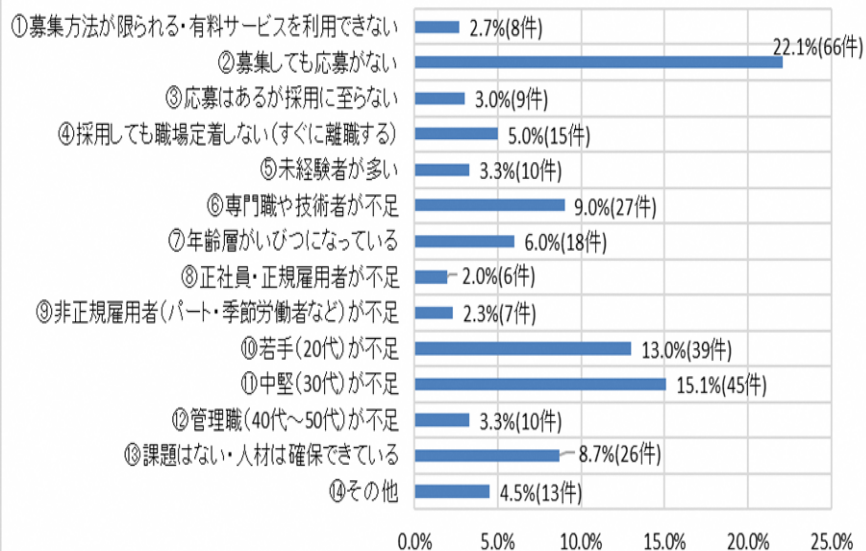
資金需要(見通し)



■ 人材確保について

人材確保について課題となっていることを、次の中から選択してください。(複数選択可)

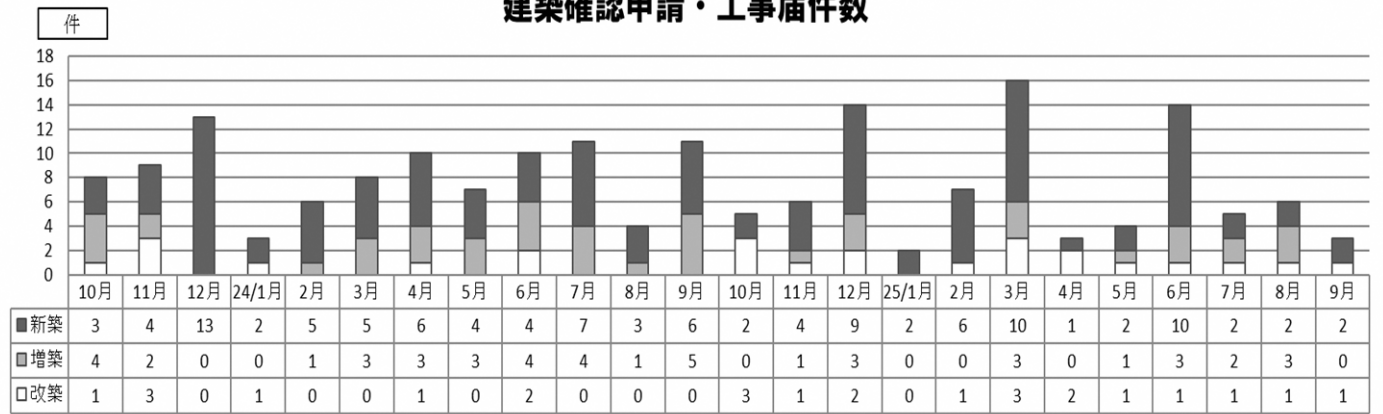
人材確保について課題となっていること



<その他の主なコメント>

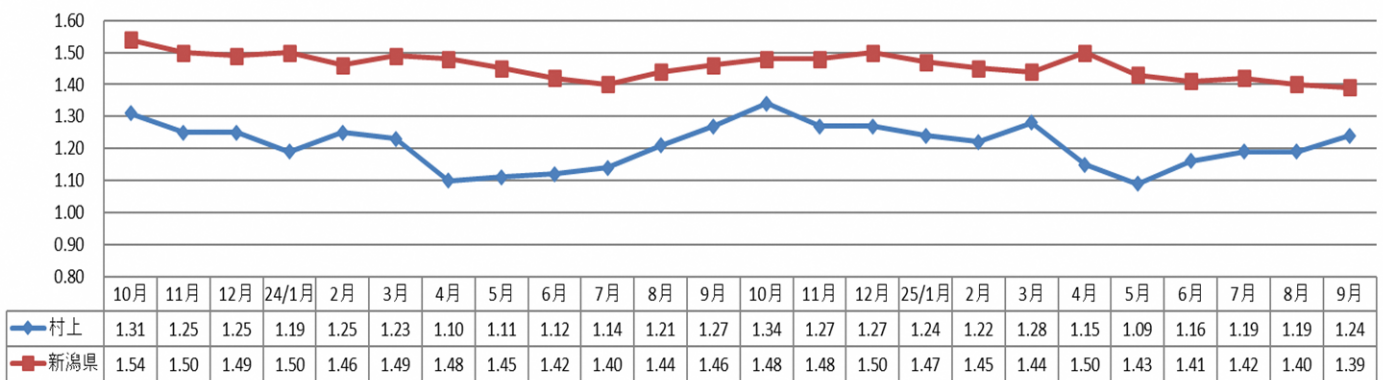
- ・能力が伴わず、育てるまでに経費も労力もかかる。
- ・とりあえず、今の人材でこなしていくしかない。
- ・最賃が急激に上がった。顧客に価格転嫁の交渉する時間もない。来年4月からすべき。
- ・繁忙期だけ雇用するのでは、まともに仕事できる方はいない。
- ・新規雇用するほど仕事がない。
- ・夫婦での経営だから人材関係無し。
- ・1人でやっても余る。
- ・人材を募集していない。
- ・今のところ家族でやっているが間に合っている。
- ・高齢者が多い。

建築確認申請・工事届件数



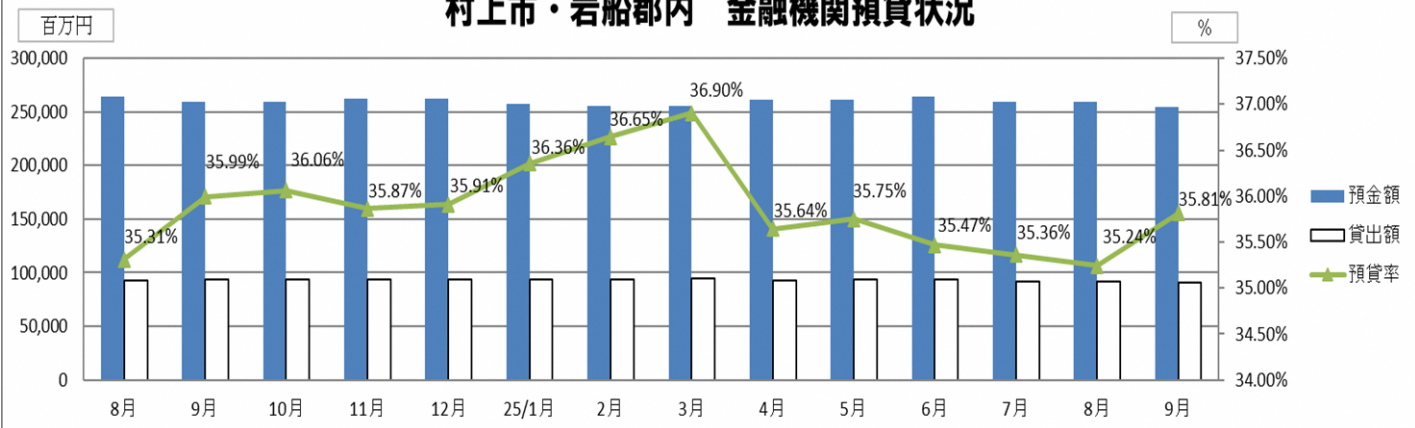
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2025年9月中旬～2025年10月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:151社(回収率75.5%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫
(全国DI)	<2025.7-9実績・2025.10-12見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)